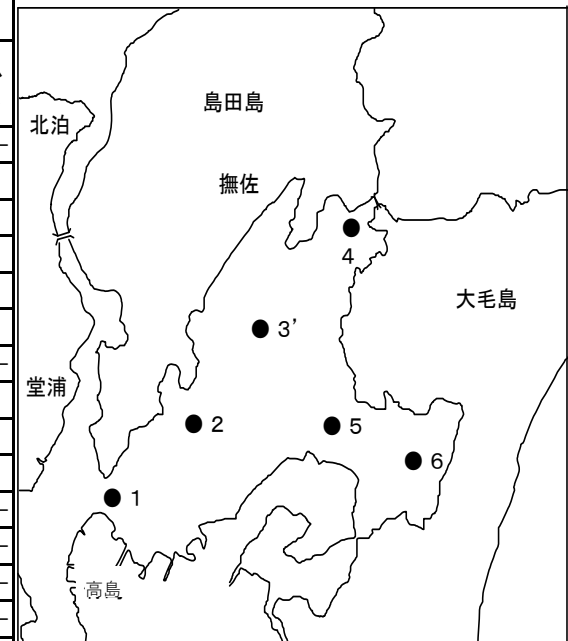


令和6年度 ウチノ海有害プランクトン調査（9月13日調査） 徳島県水産研究課

St.	採水時刻	採水層 (m)	水温 (°C)	塩分	透明度 (m)	DO (mg/L)	細胞/mL				
							シャットネラ 区分不能	シャットネラ オバータ	シャットネラ グロボーサ	カレニア ミキモトイ	コクロディニウム ポリクリコイデス
1	07:58	0-5			9.5		-	6.0	-	0.13	-
		0	28.21	31.63		6.7					
		1	28.12	31.66		6.7					
		5	27.83	31.68		6.3					
		10									
		B-1	27.77	31.73		6.0					
2	08:06	0-5			9.0		0.54	6.3	0.21	0.16	-
		0	28.14	31.76		6.6					
		1	27.99	31.78		6.5					
		5	27.62	31.84		5.5					
		B-1	27.45	31.83		4.0	0.01	1.7	-	0.01	-
3'	08:15	0-5			10.5		1.36	6.7	0.01	0.31	-
		0	28.28	31.73		6.5	0.80	1.7	0.02	-	-
		1	28.14	31.75		6.6	0.02	5.7	-	-	-
		5	27.76	31.83		6.1	0.05	5.0	-	0.32	-
		10	27.41	31.83		4.5					
		B-1	27.41	31.83		4.5	-	-	-	-	-
4	08:25	0-5			9.5		0.49	4.3	-	0.01	-
		0	28.31	31.72		6.6					
		1	28.21	31.72		6.6					
		5	27.55	31.77		6.2					
		10	27.47	31.84		5.1					
5	08:38	B-1	27.43	31.84		4.4	0.01	4.7	-	-	-
		0-5			8.0		1.01	5.0	0.04	0.03	-
		0	28.15	31.74		6.4					
		1	28.06	31.73		6.4	0.69	8.0	-	-	-
		5	27.56	31.85		5.0	0.28	10.3	-	-	-
6	08:46	10					0.17	3.0	-	-	-
		B-1	27.36	31.83		3.7					
		0-5			8.0		1.73	16.0	0.17	0.80	-
		0	27.99	31.71		6.4					
		1	27.90	31.72		6.5					
		5	27.64	31.82		5.6					
		10	27.13	31.76		1.8					
		B-1	27.06	31.75		1.6	0.06	5.3	-	0.07	-



備 考

・有害種のシャットネラ属(区分不能、オバータ)が前回調査時と同程度でした。本種は、高密度化すると魚類を斃死させる恐れがあります。今後の動向にご注意ください。

シャットネラ属(3種合計 区分不能+オバータ)
最大細胞密度 17.73 cells/mL(St.6 0-5m)

・有害種のカレニア ミキモトイが前回調査時から大きく減少しました。

最大細胞密度 0.80 cells/mL(St.6 0-5m)

・有害種のコクロディニウム ポリクリコイデスは検出されませんでした。

・珪藻は前回調査時から増加しました。

珪藻細胞密度 :13 cells/ml (St.5 0-5m)